



①現況：上石神井第1号踏切が視認され、道路沿いには商業施設が視認できる。



駅舎のデザインについては今後、詳細な検討を行う。

②将来：新たに高架化された駅舎が出現するものの、「鉄道施設の構造及び高さ」、「周辺環境や地域景観と調和するような外壁」及び「地域の景観づくりに寄与した駅舎の形状や意匠等」に配慮することで、事業の実施に伴う景観への影響を可能な限り回避又は低減できると予測される。

図 8.5.2-4 代表的な眺望地点（地点4）における眺望の変化の程度  
（上石神井第1号踏切付近）



①現況：上石神井第3号踏切付近から西武新宿線の地平構造が視認され、線路・道路沿いには戸建て・集合住宅等が視認できる。



②将来：地上の線路が、高架橋に変化することで、この地点からの眺望が変化するものの、高架下から後背地の状況が視認可能なことや、架線や信号設備等の鉄道施設が地上から高架上に移ることで、周辺と調和した都市的景観になるものと予測される。

図 8.5.2-5 代表的な眺望地点（地点5）における眺望の変化の程度  
（上石神井第3号踏切付近）



①現況：武蔵関駅の駅施設が視認され、道路沿いには商業施設等が視認できる。



駅舎のデザインについては今後、詳細な検討を行う。

②将来：旧駅舎が撤去され、新たに高架化された駅舎が出現するものの、「鉄道施設の構造及び高さ」、「周辺環境や地域景観と調和するような外壁」及び「地域の景観づくりに寄与した駅舎の形状や意匠等」に配慮することで、事業の実施に伴う景観への影響を可能な限り回避又は低減できると予測される。

図 8.5.2-6 代表的な眺望地点（地点6）における眺望の変化の程度（武蔵関駅付近）



①現況：樹木の奥に西武新宿線の地平構造が視認され、中央付近には住宅等が視認できる。



②将来：新たに高架橋が出現するものの、高架下から後背地の状況が視認可能なことから、鉄道施設から受ける影響は小さいと予測される。

図 8.5.2-7 代表的な眺望地点（地点7）における眺望の変化の程度  
（石神井川沿い）



①現況：武蔵関公園の樹木の奥に西武鉄道新宿線の盛土構造が視認でき、中央付近には集合住宅等が視認できる。



②将来：新たに高架橋が出現するものの、公園内の樹木の合間に溶け込んでおり、鉄道施設から受ける影響は小さいと予測される。

図 8.5.2-8 代表的な眺望地点（地点8）における眺望の変化の程度  
（武蔵関公園）



①現況：東伏見駅の駅施設やロータリー、植樹が視認できる。



②将来：旧駅舎が撤去され、新たに高架化された駅舎が出現するものの、「鉄道施設の構造及び高さ」、「周辺環境や地域景観と調和するような外壁」及び「地域の景観づくりに寄与した駅舎の形状や意匠等」に配慮することで、事業の実施に伴う景観への影響を可能な限り回避又は低減できると予測される。

図 8.5.2-9 代表的な眺望地点（地点9）における眺望の変化の程度（東伏見駅付近）



①現況：西武新宿線の地平構造が視認され、線路・道路沿いには戸建て・集合住宅等が視認できる。



②将来：新たに擁壁が出現するものの、構造物高さが低く、周辺の建物を大きく超える高さではないことから、鉄道施設から受ける影響は小さいと予測される。

図 8.5.2-10 代表的な眺望地点（地点10）における眺望の変化の程度  
（東伏見公園）